

---

## 第2期

# 関市まち・ひと・しごと創生 総合戦略

【附属資料】

---

## (1) 国の考え方

国は、2060年に日本の人口を1億人程度維持するための「中長期ビジョン」を提示し、人口減少・少子高齢化、東京一極集中、地域経済の是正など、国の社会課題の解決に向け「第1期総合戦略」を策定し、4つの基本目標とさまざまな施策を掲げて取り組んできました。このたび、既存の総合戦略が終了することから、これまでの地方創生について「継続を力」にし、現行の4つの基本目標を維持し、新たな視点に重点を置いた「第2期総合戦略」に取り組みます。

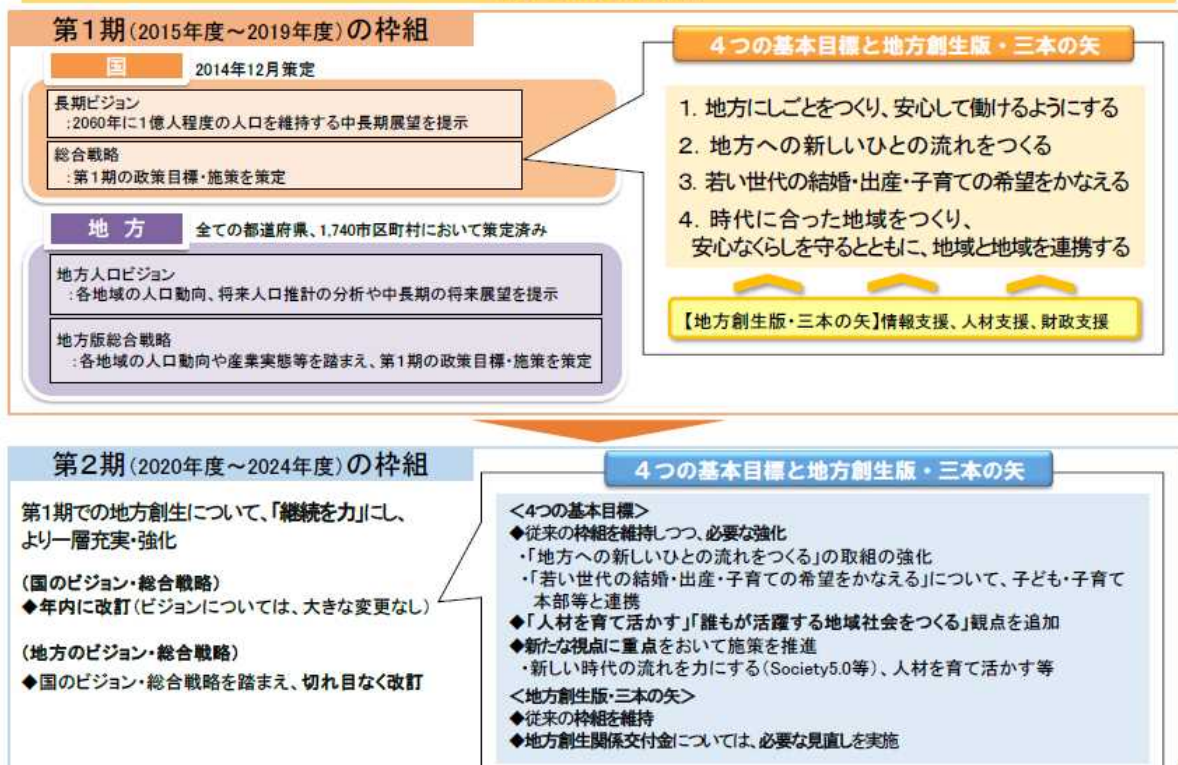
## (2) 基本目標

- |              |                                       |
|--------------|---------------------------------------|
| <b>基本目標1</b> | 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする               |
| <b>基本目標2</b> | 地方への新しいひとの流れをつくる                      |
| <b>基本目標3</b> | 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる                |
| <b>基本目標4</b> | 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する |

### 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に向けて



### 第2期の方向性



### (3) 新たな視点と主要な取組 (国)

国の第2期(2020年度~2024年度)総合戦略においては、現行の4つの基本目標に向けた取組を実施するにあたり、次の新たな視点に重点を置いて施策を推進します。

#### 第2期における新たな視点

第2期(2020年度~2024年度)においては、4つの基本目標に向けた取組を実施するにあたり、新たな次の視点に重点を置いて施策を推進する。

##### (1) 地方へのひと・資金の流れを強化する

- ◆将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大。
- ◆企業や個人による地方への寄附・投資等を用いた地方への資金の流れの強化。

##### (2) 新しい時代の流れを力にする

- ◆Society5.0の実現に向けた技術の活用。
- ◆SDGsを原動力とした地方創生。
- ◆「地方から世界へ」。

##### (3) 人材を育て活かす

- ◆地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援。

##### (4) 民間と協働する

- ◆地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業と連携。

##### (5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる

- ◆女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現。

##### (6) 地域経営の視点で取り組む

- ◆地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント。

19

#### 2020年度における各分野の主要な取組

##### 1. 地方にしごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす

- ・「地域人材支援戦略パッケージ」等による人材の地域展開
- ・新たなビジネスモデルの構築等による地域経済の発展
- ・「海外から稼ぐ」地方創生
- ・地方創生を担う組織との協働
- ・高等学校・大学等における人材育成

##### 2. 地方への新しいひとの流れをつくる

- ・地方への企業の本社機能移転の強化
- ・企業版ふるさと納税の活用促進による民間資金の地方還流
- ・政府関係機関の地方移転
- ・「関係人口」の創出・拡大
- ・地方公共団体への民間人材派遣
- ・地方の暮らしの情報発信の強化

##### 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる

- ・個々人の希望をかなえる少子化対策
- ・女性、高齢者、障害者、外国人等が共生するまちづくり

##### 4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ・交流を支え、生み出す地域づくり
- ・マネジメントによる高付加価値化
- ・Society5.0の実現に向けた技術の活用
- ・スポーツ・健康まちづくりの推進

##### 5. 連携施策等

- ・地方創生に向けた国家戦略特区制度等の推進
- ・東日本大震災の被災地域における地方創生の加速化
- ・規制改革、地方分権改革との連携
- ・国土強靱化等との連携